

「平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果の概要

平成31年 2月 中野市教育委員会

平成30年4月から7月にかけて全国の小学校5年生と中学2年生を対象に、標記の調査が行われ、市内の小学校11校、中学校4校も参加しました。

その結果が、平成30年12月末にスポーツ庁より送付されましたのでお知らせします。

なお、学校別の結果については、既に各校に送付されており、それを基に今年度の評価と来年度の体力向上プランを作成していただきます。

I 調査の概要

1 調査主体 スポーツ庁

2 調査期間 平成30年4月から7月末までの期間

3 対象児童・生徒（原則として以下の学年の全児童生徒を対象）

(1) 小学校第5学年児童、中学校第2学年生徒

全国 小学校 20, 121校 中学校 10, 645校

長野県 小学校 373校 中学校 205校

(2) 市内調査校数 小学校11校 中学校4校

4 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

① 実技に関する調査

〔小学校8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ

〔中学校8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子1500m、女子1000m）又は20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ

② 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

(2) 学校に対する質問紙調査

子どもの体力向上に係る取組等に関する質問紙調査

Ⅱ 調査結果

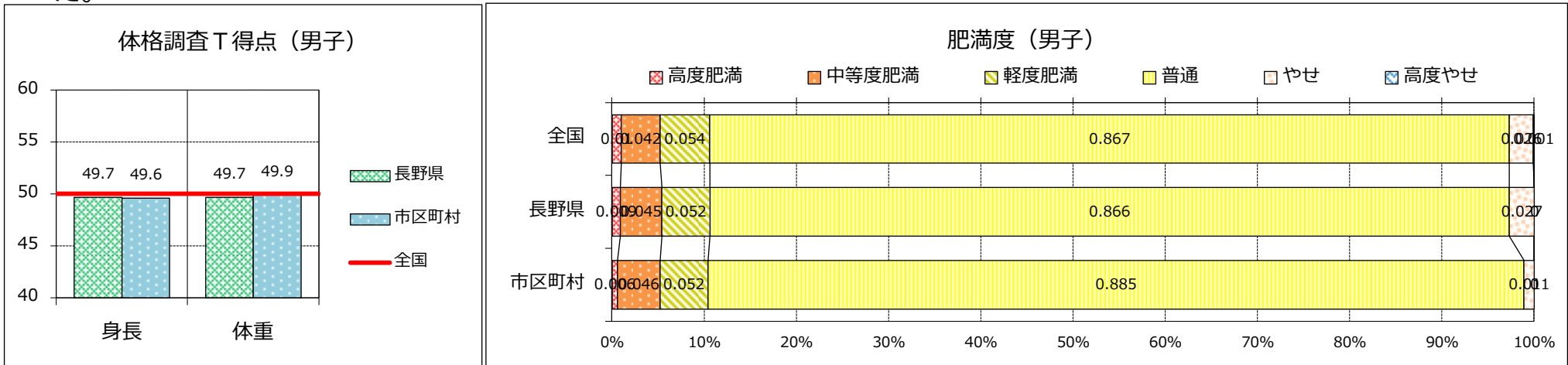
1 体格

(1) 小学校

① 男子

○身長、体重ともに全国平均と同程度でした。

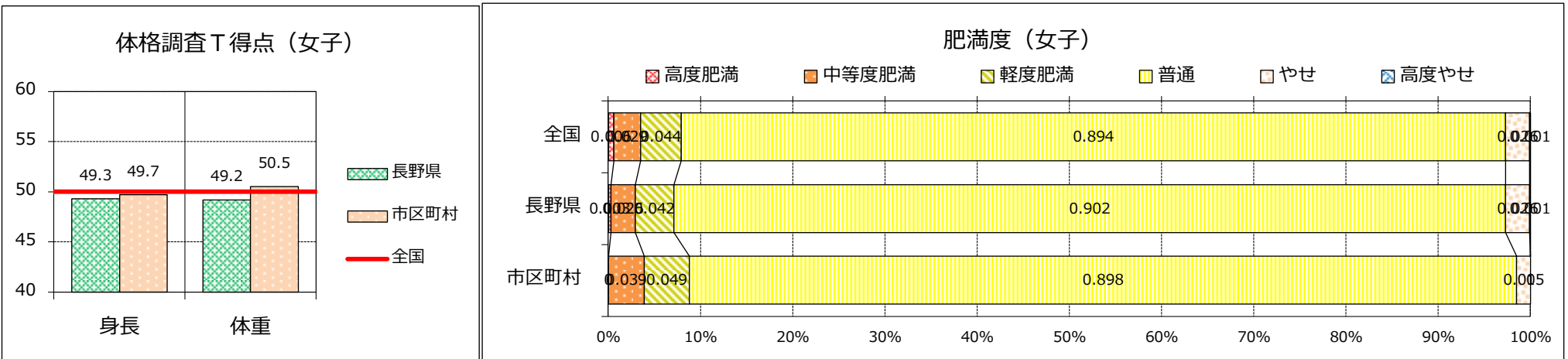
○高度肥満の割合は低く、中等度・軽度肥満は全国と同程度でした。やせの割合は全国より低く、普通が全国をやや上回りました。



② 女子

○身長、体重ともに全国平均と同程度でした。

○高度肥満はいませんが、中等度肥満、軽度肥満の割合が全国をやや上回りました。やせの割合は全国よりやや低く、普通の割合は全国平均と同程度でした。

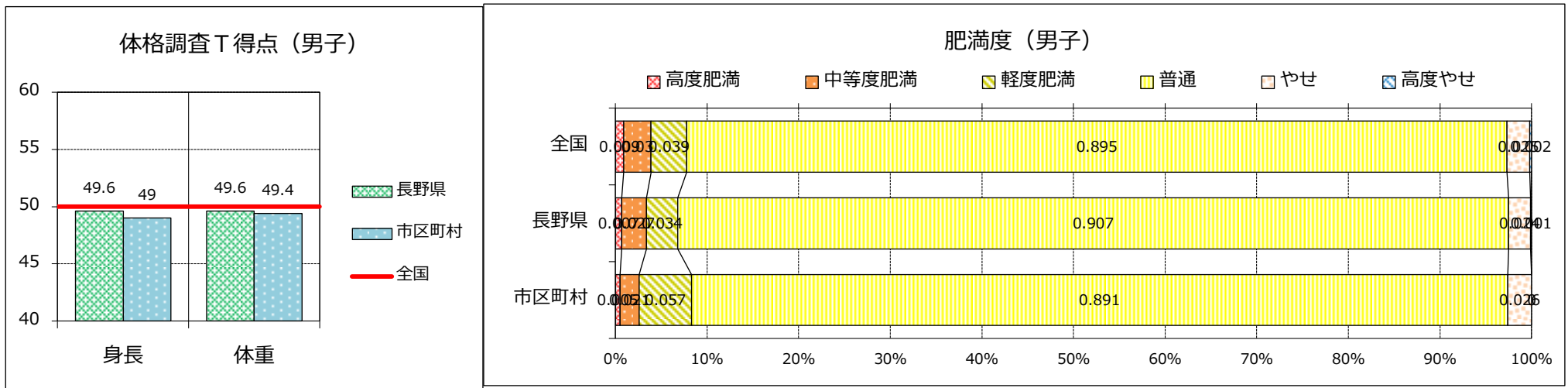


(2) 中学校

① 男子

○身長は全国平均をやや下回り、体重は全国平均と同程度でした。

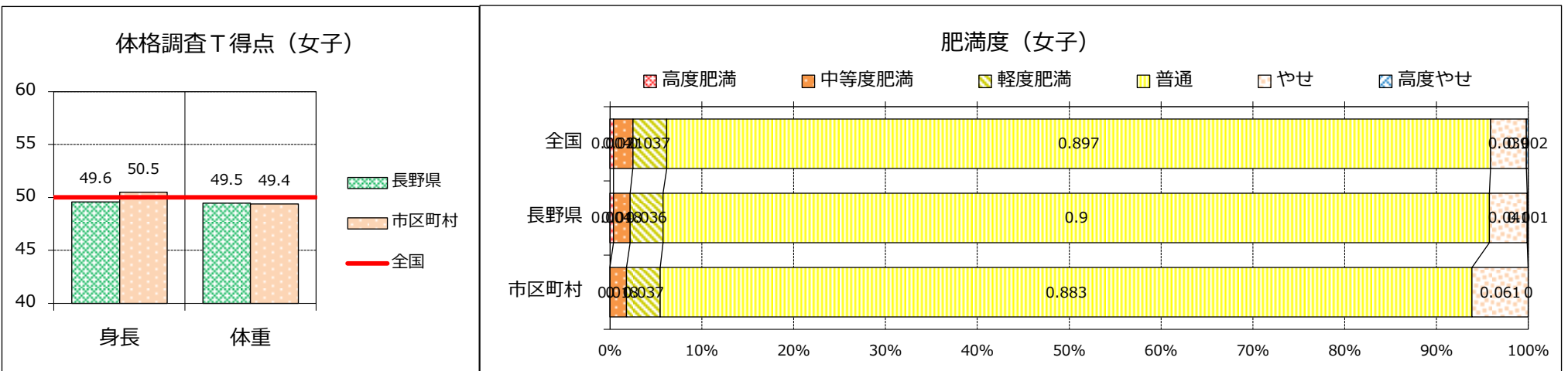
○高度・中等度肥満の割合は全国平均を下回りましたが、軽度肥満の割合が全国平均を上回り、肥満全体の割合は全国平均をやや上回りました。やせの割合は全国平均と同程度で、正常の割合が全国平均をやや下回りました。



② 女子

○身長、体重ともに全国平均と同程度でした。

○高度肥満はいませんでした。中等度・軽度肥満の割合は全国平均と同程度でした。高度やせはいませんでした。やせの割合が全国平均を上回ったので、正常の割合は全国平均をやや下回りました。



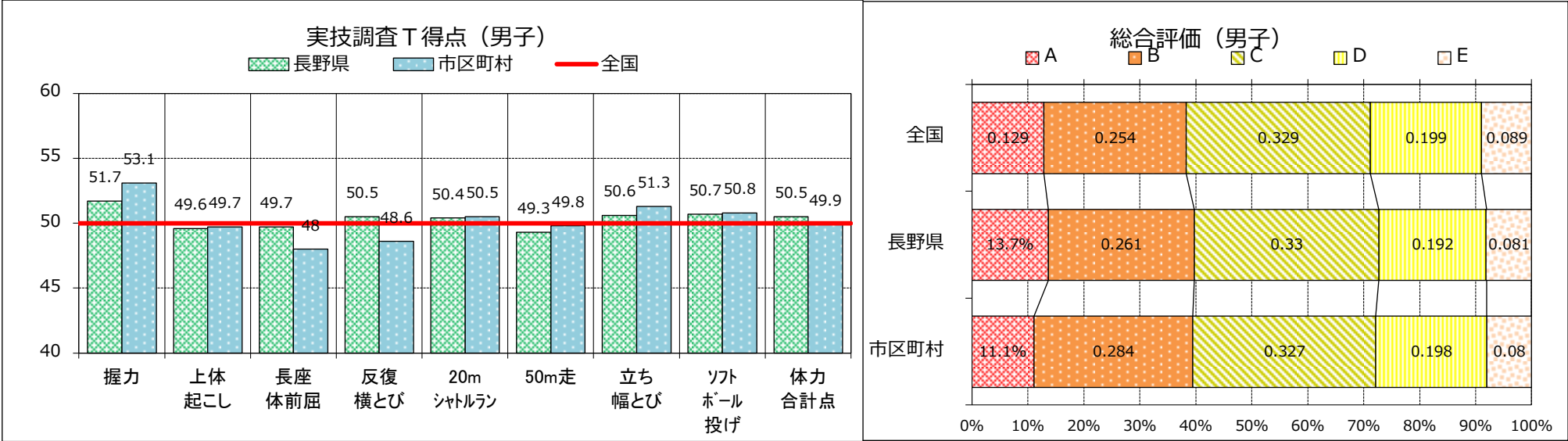
2 体力・運動能力

(1) 小学校

① 男子

○実技調査では「長座体前屈」「反復横とび」が全国平均を下回り、「握力」「シャトルラン」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」が全国平均を上回りました。合計点も全国平均と同程度でした。

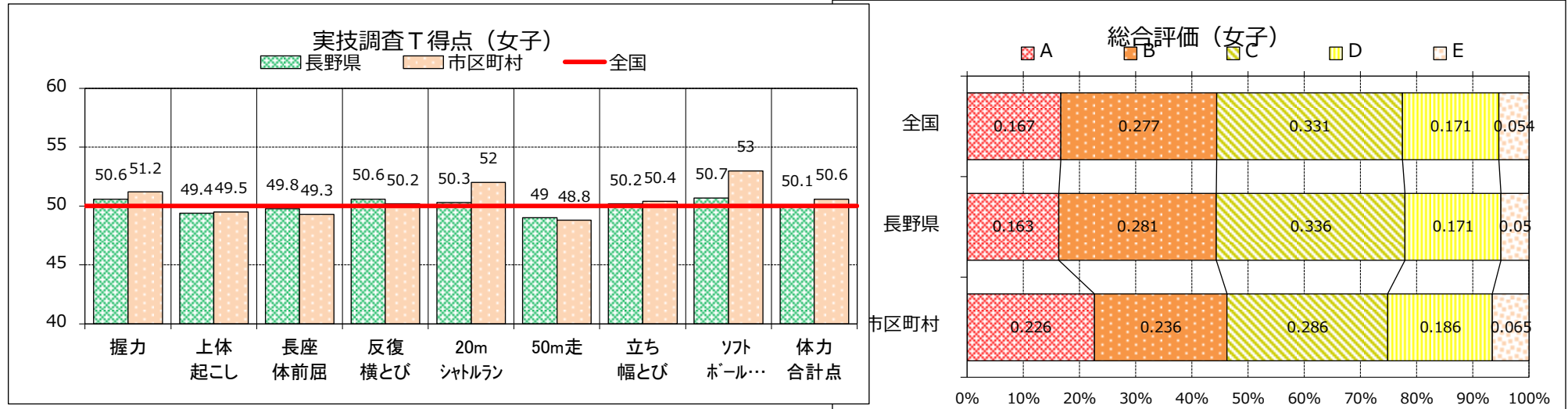
○総合評価では、A段階が全国平均を1.8%下回りましたが、B段階が全国平均を3.0%上回りました。C～E段階は全国平均と同程度で、総合評価の段階は全国平均と同じ傾向です。



② 女子

○「握力」「シャトルラン」「ソフトボール投げ」が全国平均を上回りましたが、「50m走」が全国平均を下回りました。体力合計点は全国平均を少し上回りました。

○A段階が全国平均を5.9%上回りましたが、D・E段階の合計も全国平均を2.6%上回り、得点にやや二極化の傾向がありました。

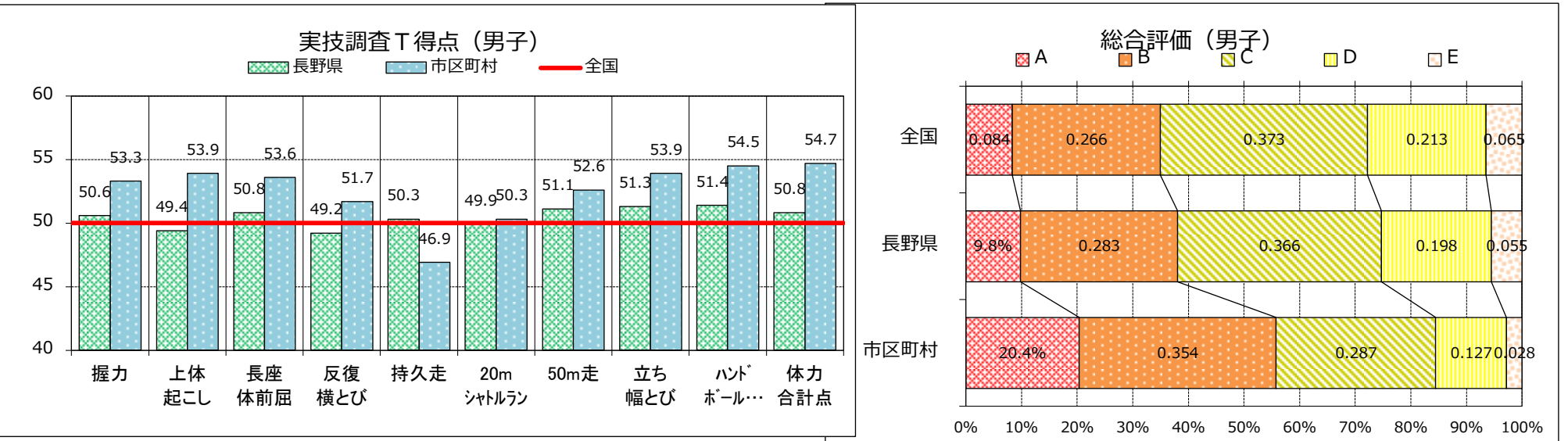


(2) 中学校

① 男子

○2年連続で「持久走」以外はすべての種目で全国平均を上回り、合計点では全国平均を4.7%上回りました。「持久走」と「シャトルラン」は選択制で、大きな問題はありますが、他の種目と比べると持久力がやや苦手な傾向にあります。

○A・B段階の合計が全国平均を20.8%上回り、D・E段階の合計が全国平均を12.3%下回り、体力・運動能力が大変高い傾向です。昨年度とほぼ同様の結果です。



② 女子

○「反復横とび」「シャトルラン」が全国平均を下回りましたが、「握力」「持久走」「ハンドボール投げ」等が全国平均を上回り、合計点で全国平均を3.4%上回りました。

○A段階が全国平均を13.3%上回り、A・B段階の合計も全国平均を8.2%上回りました。D・E段階の合計が全国平均を1.9%下回り、体力・運動能力が高い傾向です。昨年度とほぼ同様の結果です。

